

低血糖の症状にご注意ください

低血糖とは、血糖値の低くなりすぎた状態です。

低血糖は進行すると意識を失うこともあるため、
症状がみられたら早めに対処する必要があります。



【低血糖の症状】



生あくび

吐き気

頭痛

意識もうろう

昏睡

軽い

重い

低血糖の症状がみられた時の対処法

早めに気づいて対処することで、
重い低血糖症状を避けることができます。
まずは糖分(ブドウ糖、ブドウ糖がない
場合は角砂糖、シュガーレスでないアメ・
ジュースなど*)を補給しましょう。
それでも症状がおさまらない場合は、
すぐに医療機関に連絡することが大切です。



*α-グルコシダーゼ阻害剤(ベイスン、グルコバイ、セイブルなど)と併用している時にはブドウ糖を
摂取してください。

このしおりの内容は、
ご家族やまわりの方にもお知らせください。

Kowa 興和株式会社

デベルザ[®]錠20mg を 服用される患者さんへ

このお薬は、過剰な糖を尿中に排泄させることで
血糖を下げる効果があります。
通常、1日1錠(20mg)を朝食前または
朝食後に服用してください。



- 医師または薬剤師の指示通りに服用してください。
飲み忘れた場合には、決して2日分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、できるだけ早く飲み忘れた分(1日分)を
服用してください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、
次の時に1日分を服用してください。
- 服用中は尿検査で尿糖が「陽性」になることがあります。
検査の際には、お薬を服用していることを医師に伝えてください。
- 気になる症状などが認められたら医師または薬剤師に
相談してください。

服用するにあたっての注意点

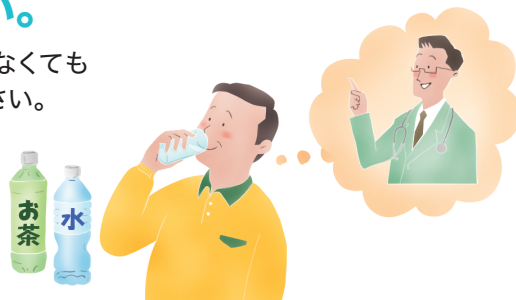
このお薬は、過剰な糖を尿中に排泄させるため
以下のような副作用があらわれることがあります

- ①尿の回数や量の増加
- ②尿路感染、性器感染
- ③ケトアシドーシス

①尿の回数や量の増加にともなう注意

脱水症状にご注意ください。

脱水を予防するため、のどの渇きを感じなくても
こまめに水分(水・お茶)を補給してください。
トイレの回数や尿量が多くなっても、
水分摂取を心掛けてください。
なお、医師より水分摂取に関して
指示がある方は、医師の指示に
従ってください。



●以下の方は脱水になりやすいと考えられますので特にご注意ください。

- 高齢の方
- 汗をかいた方(夏季、運動時、入浴後)
- 利尿作用のある薬を飲んでいる方
- 血糖値が安定しない、もしくは非常に高い方
- 発熱、下痢、嘔吐等がある方

【脱水の症状】



②尿路感染および性器感染にご注意ください

このお薬により、尿路感染および性器感染を起こすことがありますので、
陰部を清潔に保つように心がけてください。
以下のような症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。

●尿路感染の主な症状 ●性器感染の主な症状

- 尿が近い
- 残尿感
- 排尿時の痛み など

- 膣のにおい ● 白色～黄色のおりもの ● 膣のかゆみ
- 陰茎の発赤 ● 陰茎のかゆみ・腫れ
- 悪臭を伴う陰茎からの分泌物 ● 陰茎周囲の皮膚の痛み など

なお、重症になると、腎盂腎炎、敗血症、陰部の壊死性筋膜炎(フルニエ壊疽)[※]など
になることがありますので、速やかに医療機関を受診してください。

※壊死性筋膜炎とは、皮下組織の細菌感染が筋膜にまで急速に広がって組織を破壊する疾患で、ときに
生命を脅かすことがあります。特に陰部にわずらった場合「フルニエ壊疽」と呼ばれます。

●腎盂腎炎、敗血症の主な症状 ●フルニエ壊疽の主な症状

- 悪寒やふるえを伴う高熱
- 脇腹や腰の痛み
- 関節や筋肉の痛み など

- 陰部の痛み
- 陰部の皮膚が赤～赤紫色に腫れる、痛みを伴う
水ぶくれができ、ただれたりする
- 発熱 ● 体がだるい など

③ケトアシドーシス[※]にご注意ください

このお薬の作用により、脂肪酸の代謝が進み、その分解物であるケトン体が
血中に増えて、ケトアシドーシスがあらわれることがあります。
ケトアシドーシスを防ぐため、過度な糖質摂取制限を避け、
食事や水分の摂取を心がけてください。

●以下のような時には、ケトアシドーシスをおこしやすいので、ご注意ください。

- インスリン製剤を減量・中止した時
- 過度な糖質摂取制限をした時
- 食事が十分にとれていない時
- 感染症にかかっている時
- 脱水症状のある時 など

※ケトアシドーシスとは、ケトン体が血液中に増えるため、血液が酸性になり、
体にさまざまな異常が生じる状態のことです。気づかずに重症になると意識を失うこともあります。

血糖値が高なくても、ケトアシドーシスがあらわれることがあります。血糖値に
かわらず、以下のような症状があらわれた場合には、速やかに医療機関を受診して
ください。

●ケトアシドーシスの主な症状

- 吐き気、嘔吐、食欲がない、腹痛、激しいのどの渇き、倦怠感、呼吸困難、意識が薄れる など

